

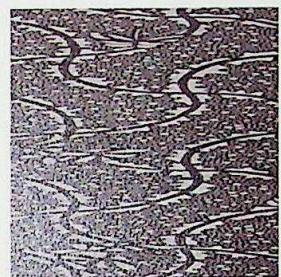


特集

アグリ創生教育研究センター誕生！

活躍する佐大OB

純粋な「個」と向き合い見えてくるもの  
佐賀県在住 画家 塚本猪一郎さん



教育紹介

段ボールコンポストづくりで環境教育

研究紹介

家族の絆、調和、子どもの利益

トピックス

「STEPs」理工学部学生も  
英語でコミュニケーション！

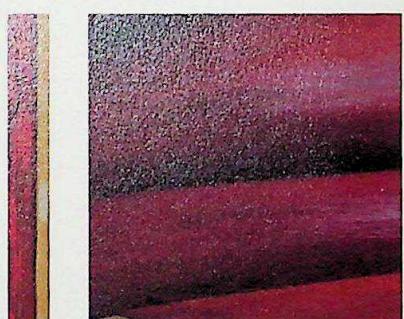


イキイキ佐大生

校友会だより

サークル紹介

Etc



# アグリ創生 教育研究センター 誕生!

アグリ創生教育研究センターは、旧海浜台地生物環境研究センター（学内共同）と旧資源循環フィールド科学教育研究センター（農学部附属）を統合して、平成24年10月1日に設置された農学部附属の新しい施設です。本センターは旧資源循環フィールド科学教育研究センター施設をセンター本部（佐賀市久保泉町）、旧海浜台地生物環境研究センター施設（唐津市）を唐津キャンパスとし、アグリソース循環推進部門、アグリ医療部門、アグリリソース開発部門の3部門で構成されています。



除幕式

## 設置目的

新センターは、これまで旧両センターが担当してきた農業に関する実践的な教育・研究のさらなる充実、学内の他学部や学外の研究機関等と連携して、社会ニーズの高い課題をターゲットにしたプロジェクト研究による地域への貢献や近隣諸国との連携・協力活動の推進、さらには文化教育学部や医学部と連携した農業フィールド資源の医療・福祉分野で利活用などの新しい教育研究分野の創生を目指すものです。

## プロジェクト研究

国産グレープフルーツとして有望な佐賀大学ブランド“さがんルビー”の

## 農業フィールド資源の 医療・福祉利用

これまで食料や観賞用に栽培されてきたトマト、サツマイモ、カーネーション、キクなどの植物の世話、収穫そして試食の体験、あるいはウシやヤギなどの家畜の世話や餌やりの体験が障害者らや認知症の人たちに対する

生産拡大と新奇加工品の開発をベースにした佐賀オレンジベルトの活性化、唐津上場台地に適した栽培品種開発による地域の活性化、あるいは乾燥地が拡大する環黄海諸国における環境修復技術の構築・支援による国際貢献の強化などを目標としています。



実習風景



お尾の野よしだか孝  
農学部附属アグリ創生  
教育研究センター  
センター長





実習風景

## 食農教育と地域貢献

### 〈有機・特別栽培〉

平成13年に国立大学として初めて認定されたJAS有機認証圃場を中心において、農薬や化学肥料の使用を極力抑えことで、環境へやさしい、そして安心・安全な農産物生産についての教育・研究を行っています。

ケアや諸機能の向上に及ぼす効果の学術的な検証を行っていきます。これは前例を見ないとてもユニークな試みといえます。



子ヤギと学生

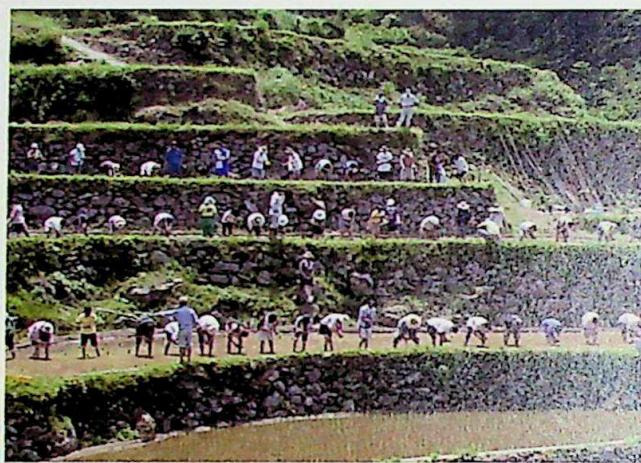


公開講座(そば打ち)

平成4年より、市民約20名を対象に豚肉のハム・ソーセージ作り、100%ミカンジュース作り、有機野菜の栽培、ソバの栽培とそば打ち体験などを行い、毎年好評を得ています。

### 〈公開講座〉

平成15年より盛岡市わらび町地区棚田で水稻やソバの有機栽培、水路清掃、大雨災害地の復旧作業などを通じて地域の人たちとの連携を深めています。



棚田での田植え

### 〈棚田保全活動〉

平成15年より盛岡市わらび町地区棚田で水稻やソバの有機栽培、水路清掃、大雨災害地の復旧作業などを通じて地域の人たちとの連携を深めています。



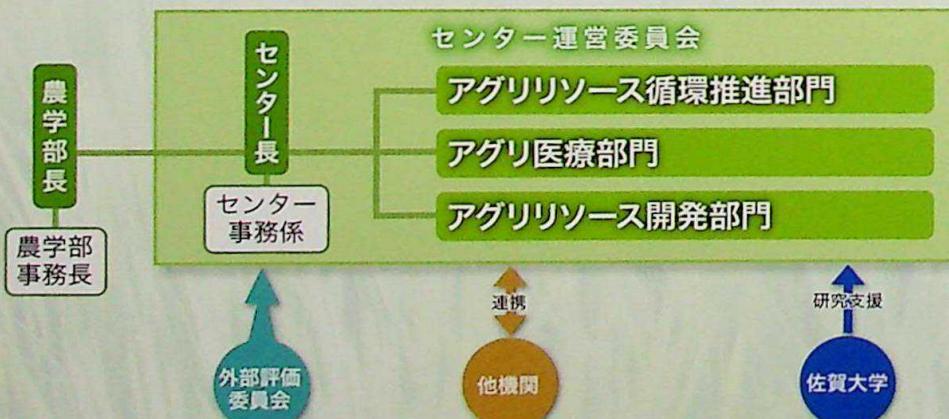
毎年約500名の近隣の幼稚園や保育園児がサツマイモ掘りに訪れ、にぎやかで楽しい時間を過ごしています。

### 〈芋掘り体験〉

このような活動は、食農教育および地域貢献という観点から非常に重要なため、今後はさらに力を注いでいきたいと考えています。

このように、新センターは、教育や地域貢献のさらなる充実、研究のスムーズな展開、および新しい教育研究分野創生への挑戦を行うものです。皆様のご理解とご支援をお願いします。

## 農学部附属「アグリ創生教育研究センター」



### 教育研究内容

有機・環境保全農業  
地域農業インターフェイス  
実践農業教育・農業版MOT

アグリ医療・アグリセラピー  
医食同源・機能性食品開発

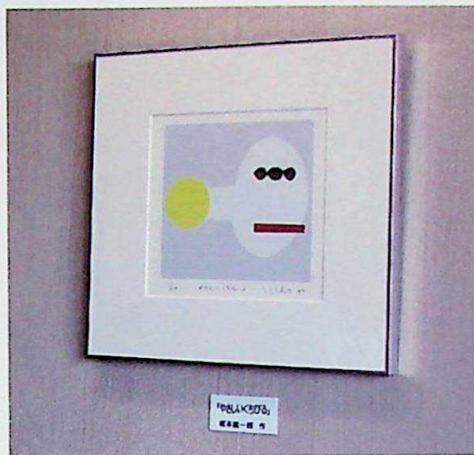
海浜・島嶼の農水産経営戦略  
生物資源の探索・有効活用  
環境修復・保全管理

# 純粹な「個」と向き合い

見えてくるもの

今回は、佐賀在住で、制作・個展活動を中心に画家として活躍されている塙本猪一郎さんにお話を伺いました。塙さんは、詩人の谷川俊太郎氏とのコラボレーションや、全国各地での展覧会など幅広く活動されています。

また、3年前から現在に至るまで計29点の作品を佐賀大学医学部附属病院に寄贈されています。



病院個室に飾られている絵画

病室は6人部屋で、ベッドの横にポータブルトイレがあり、まるで野戦病院のような雰囲気でした。すぐ退院できる人はいいかもしないが末期の人がある環境では……と思い、かけあってホスピスに移してもらいました。そこは180度違う環境で、家族と過ごせる4畳半の畳の部屋があり、キッチンやシャワーもあり、その部屋には絵も掛けありました。病院はこういう環境じゃなきゃいけないと、その時思いました。そんな時、医学部附属病院の宮崎耕治氏から絵の寄贈の話があり、お受けした訳です。

宮崎さんは、佐賀県立佐賀西高校の先輩後輩の仲で昔からの知り合いでした。よく個展に来てくれていて、それがきっかけです。

## 【大学時代の思い出】

自分の人生の中で自分を見つめることが一番できた最高の時間だったと思います。

われますよね。そうすると自分も不安になる。すると自分のことを冷静に見つめられなくなる。動かなければいけない、何かをしなければいけないと考えるようになりました。でも大学時代というのは、ピュアな、フラットな状態で自分がことを考ることができます。そして周りにもそういう友達がいる。そういう中で将来のこととか芸術のこととかを、損得抜きで、議論したり話したりしてきたことがとても良かったですね。

## 【思い出に残る先生】

深草廣平先生、小川泰彦先生、城秀

男先生、山本民二先生、宮尾正隆先生、たくさんの先生がいらっしゃいましたが、一番付き合いが長かった深川善次先生を抜きにしては語れません。深川先生は西高時代の美術の先生だったのですが、僕が大学に入学したのと一緒に、先生も佐賀大学に(教師として)来られたのです。

【絵を寄贈されるきっかけは?】

父親が大腸癌で県内の病院に入院していた時、手術しても余命半年かもしれないと言わっていました。しかし

深川先生からは今でも一番印象に残っている言葉をもらいました。「純粹にければ周りから『なんじょつと?』と言

われますよね。そうすると自分も不安になる。すると自分のことを冷静に見つめられなくなる。動かなければいけない、何かをしなければいけないと考えるようになりました。でも大学時代というのは、ピュアな、フラットな状態で自分がことを考することができます。そして周りにもそういう友達がいる。そういう中で将来のこととか芸術のこととかを、損得抜きで、議論したり話したりしてきたことがとても良かったですね。



塙本猪一郎さん  
教育学部特別教科(美術・工芸)  
教員養成課程・昭和58年卒業



附属病院に寄贈された絵画

と、年賀状にひと言書いてあったのです。

その時は、意味は分かっても体感として分かりませんでした。分かったのは卒業後1年間スペインに行き、日本に帰ってきた時です。

スペインでは、「毎日絵を描いていました。今日描いた絵を部屋に掛ける、次の日描いた絵をまた掛ける」ということを繰り返していました。それを続けると部屋中が絵だらけになってしまふところがなくなるのです。そうすると気に入らない絵を外すようになります。それを毎日繰り返していました。どんな絵を外していたかを後から考えると「作為のある絵」なんですね。

そして1年後日本に帰つて来た時にハツと気付いて、深川先生の言葉を思い出したのです。作為があつたら「純粹に個人的」ではないんだ、と。「これだ!」と思って深川先生に会いに行きました。先生の言葉、感動しました。やつと分かりました。」と伝えました。先生は「僕はそんな言葉は憶えてないな」と言つてましたけど(笑)。

つい最近なんですけど、「エイズブックの友達の中の一部分に、カール・ロジャース(アメリカの心理学者)という人が“What is most personal is most general”と書いていたというのを見つけたんですよ。(先生の言葉は)ロジャースの言葉から来ているということをほんとに、最近知ったんです。その言葉は、長く、今も一番僕の中で印象に残っています。

出し涙を流すかもしない。場面場面

は違うとしても、その言葉が誘発する物が個人個人の人生の中に根付いているものを引き出す。それが芸術の一つの姿ではないか。その言葉を聞いた時に僕はそんな風に感じました。

それは深川先生の「純粹に個人的なことは普遍的なことなんだよ」ということにつながると思うのです。

### 【在学生や高校生へのメッセージをお願いします】



大学時代の塚本さん

【これから夢は?】

もっともっとわがままに絵を描きたい、描けたら、と思います。純粹に個人的になるというのは、人が持っている同じ感情に近づいていくことだと思います。

谷川俊太郎さんと「ラボレーシヨン」した時に「詩はどうにして作るのですか?」と聞いたことがあります。すると彼は「サラリーマンのようにパソコンの前に座り、仕事として詩を作つてしまふ」「ただ、僕の詩を見た人が、それぞれの人生を投影出来る言葉をさがしてみると、見る人や、選者や、時代に媚を売るようになってしまいます。

高校生であるうと大学生であるうとその気持ちを忘れないでほしいです。

考えないですよね。いい絵を描きたい

という思いが強いと思います。卒業や就職活動の時期が近づいて来ると、それらの事が周りから押し寄せて来て、絵に別のが入つてしまう。それで一番悩むのは自分なんです。そのときそれを外せるかどうかなんですか。どうし

ようどうしようか悩んでいい。でも絵を描く時にそれを引きずつては絶対にダメなんです。それは絵に出てます。人に媚びを売つてしまうというか。同様に認められたいという思いも強すぎます。

切だと思います。

来年、佐賀大学には美術館ができるが、美術館というのは社会的に貢献する役目と作家や学生たちの気持ちを鼓舞する2つの面があると思います。それをうまくリンクさせるやり方を考えもらいたい。建物を造る事よりそれをどう運営し活用するかが大切だと思います。

### 【佐賀大学にもどめるものは?】



佐賀市で開かれた個展会場にて

# 段ボールコンポストづくりで 環境教育



堆肥化が進む段ボールコンポスト

今年度から学生が段ボール箱の中  
で生ごみを堆肥(コンポスト)化する  
取り組みを始めました。これは、教養  
教育での環境教育の一環で、「資源循

環コース」を受講する文化教育学部、  
理工学部、農学部などの2年生8名に  
加えて、このテーマに関心のある学生  
や大学院生合わせて24名が5月下旬  
から取り組みました。指導役として、  
長年段ボールコンポストに取り組んで  
いる下田代満さん(武雄市在住、飲食  
店経営)を招き、段ボール箱の補強方  
法や生ごみの投入方法を習ってから、  
各自2人1組になって、段ボールコン  
ポストづくりに挑戦しました。

学生がアパートから持ち寄った生  
ごみや生協食堂の残飯に、米ぬかや腐  
葉土を混ぜ、段ボール箱に入れまし  
た。学内の剪定枝をチップ化したもの  
や落ち葉も利用できるなど、4種類  
のレシピを設定し各3班で取り組み  
ました。8月上旬までの約2ヶ月半の  
ほぼ毎日、新たに生ごみを加えてから  
よく攪拌し、温度と日数、悪臭の有無  
などを記録しました。

その結果、十分な攪拌と水分調整に  
より適切な管理をすれば、生ごみは毎  
日1kg以上も投入できること、悪臭は  
ほとんど出ないこと、堆肥温度が60~

70℃にもなり、堆肥原料に含まれてい  
た食中毒菌が死滅することなどが判  
明しました。

また、全国の自治体でよく推奨され  
ている「ピートモスと薫炭」の添加は  
不要なこと、ピートモスは輸入品で  
「環境に優しい」とは言えないこと、薫  
炭も製造にエネルギーがかかり「資源  
循環」には相応しくないこと、なども  
明らかになりました。学生達は毎日熱  
心に堆肥の世話をし、記録を取り、温  
度の上がり下がりに一喜一憂し、実に  
楽しい数ヶ月であったようです。

11月現在、12個の段ボールコンポス  
トは合併されて山積みされ、熟成過程  
に入っています。この堆肥は学内緑化  
に活用する予定です。来年の卒業式か  
ら入学式にかけて、大学正門からのメ  
インストリートが花一杯となるよう、  
学生達がプランを練っています。この  
ような取り組みには緻密な作業の積  
み重ねと綿密な打ち合わせが必要で、  
単に環境問題を学ぶだけではなく、社  
会で通用する人材の育成にもつなが  
ると期待されています。



「あっ、温度上がっている！」



「いい生ごみ堆肥ができるかなあ」



農学部生物環境科学科  
資源循環生産学講座  
教授

# 家族の絆、調和、子どもの利益

～これから親権法のあり方～

子どもがいる夫婦が離婚すると、離婚後に子どもはどちらかの親に引き取られることになります。そして、子どもを引き取らなかつた親には、面会交流(面接交渉権)が認められます。この面会交流は、1964年頃から裁判所や実務家、学者の間で認められるようになり、昨年、2011年の法改正(施行は2012年4月)により民法という法律に明文化されました。私が比較研究の対象としているフランス法では、面会交流に相当する訪問権が19世紀中頃から認められるようになり、1970年には法律に明文化されております。私は、この先駆的なフランス法の訪問権を参考して、面会交流という権利を中心に研究を行ってきました。そして、私は、『子どもの利益のための面会交流—フランス訪問権論の視点から』という本を出版し、今年5月に尾中郁夫・家族法新人奨励賞を受賞しました。

私が研究している領域は、民法のなかでも特に、講学上、家族法とよばれる領域に属しますが、この家族法を取り巻く社会的状況は近年とりわけ著しく変化しています。たとえば、前述の法改正の際には、虐待にあった子どもに対する親権停止の制度が導入され、この4月から運用されております。また、国内だけでなく、国際的な局面では、ハーグ条約に関することがあります。今年3月に政府はハーグ条約の批准に関する法案を衆議院に提出しました。法案自体は、この11月の衆議院の解散により廃案となりましたが、ハーグ条約は、近い将来、批准されることでしょう。ハーグ条約が日本で発効すれば、国際結婚が破綻して日本人の親が子どもを一方的に日本に連れ帰っても、これまでとは異なり、子どもは強制的に元の国に送り返されることになります。とりわけ、ハーグ条約の

くり  
栗林佳代  
ばやし  
かよ

経済学部法政策講座  
准教授



ゼミの風景

批准の前提として国内の家族法を整備する必要があり、近年、家族法の改正が盛んに議論されております。私は、これから社会の担い手である学生に、ゼミや講義でこうした家族的な問題を認識および検討してもらうと同時に、近年の状況をふまえ、法理論の発展と社会に貢献すべく新しい親権法のあり方を研究していきたいと考えております。今後の研究において、家族の絆を法的に保つ権利ともいえる面会交流をさらに充実させ、そして、面会交流を含む親権について、子どもの利益を尊重しつつも、家族間の調和に配慮して、検討したいと思っております。

第24回 尾中郁夫・家族法学術賞  
第23回 尾中郁夫・家族法学术奨励賞  
第13回 尾中郁夫・家族法新人奨励賞

贈呈式

子の利益のための  
面会交流 フランス訪問権論  
の視点から  
栗林佳代・Keiko Kurihara

直接交渉権は  
誰のもの?!

尾中賞を受賞した『子の  
利益のための面会交流  
～フランス訪問権論の  
視点から』(法律文化社)



ゼミ論報告会

# 「STEPS」

理工学部学生も

英語で「ニゴニケーション！」



学生国際交流室を佛淵孝夫学長(前列右より3人目)が訪問

いへには!! 私たちは「STEPS」(Student Association of Excellent and Progressive Spirit)です。STEPSは佐賀大学の学生の先陣を切って国際

交流を行っている組織で2011年10月に発足しました。メンバーは佐賀大学理工学部の7学科から学生表彰を受けた学生で構成しています。STEPSの特徴は“student-centric”(学生主体)であることです。今まで国際化の推進は先生方が行うものだと思っていました。しかし現在、世界的に国際交流の意識が高まっており、学生間の交流が求められています。そこで私たち自身がリーダーシップを取って、学生の目線で国際化を考える新組織を作り上げることを目指します。

私たちが学生主体にこだわる理由としては昨年の韓国研修の経験が大きく関係しています。研修先のソウル大学の学生は流暢な英語を使っていますが、私たちもbody-languageを使っていま

てなんとか会話をするだけで、散々な思いをしました。実際に現地で会話するときになって初めて英語の大切さと国際化に対する意識の低さを痛感しました。

佐賀大学の理工学部では留学生や海外からの訪問者と関わる機会がほとんどありません。そこで、STEPSが



浙江理工大学における学生交流(2012年9月10日)



Student Association of Excellent  
and Progressive Spirit  
Faculty of Science & Engineering  
SAGA UNIVERSITY

STEPSのロゴマーク



杭州市西湖にて現地の学生達とともに



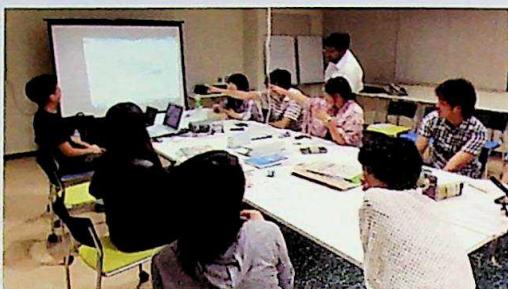
学部学生のコミュニケーションの場になればと考えています。

昨年度は、STEPs立ち上げのため

に①紹介英語原稿の作成、②ロゴマークの作成、③ホームページの作成、④学生国際交流室の整備(林田行雄工学系研究科長のご配慮に感謝!)を行いました。また、

STEPSの活動として、工学系研究科長(理工学部長)を表敬訪問された海外協定校の学長や教授および学生へ「佐賀大学の紹介」と「STEPSの活動紹介」を行いました。

具体的には、主に佐賀大学やSTEPSの方針を英語で紹介したり、大学のキャンパスを案内したりしています。言葉でうまく表現できないこともあります。言いたいことがうまく伝わらない事もよくあります。ですが、海外から来られた方々に英語でプレゼンすることや海外の学生とコミュニケーションを取ることなど大変貴重な経験をしています。また、些細なことですが一生懸命ジェスチャーを交えて会話をしたときに相手に言いたいことが伝わったときはこの上ない喜びです。活動をして良かったと思えることの一つとして、仲良くなつた海外の学生とソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)



杭州・上海研修前に英会話のレッスン

などを通して近況の報告をし、嬉しい思いをしました。

2012年春にSTEPS第2期メンバーも加わり、研修先でどのようなことを話すのかを想定した英語レッスンを受けました。また、昨年度と違いSTEPSメンバーと浙江理工大学の学生間で事前に英語で連絡を取り合い、研修内容について考えを伝え、お互いに協力しながら研修に臨みました。

このように出来る限りの準備を整え、9月に杭州・上海研修として中国の大学を訪問しました。事前に連絡を取り合っていたためすぐに打ち解けることが出来ましたが、中国の学生の行動力とコミュニケーション能力の高さには直接会ってみて驚かされました。現地の学生から杭州の有名な観光スポットや伝統など様々な場所に案内してもらい大変貴重な経験をしました。

中国に研修に行つたおかげで改めて日本の良さを実感できたところもありますが、一生懸命ジェスチャーを交えて会話をしたときに相手に言いたいことが伝わったときはこの上ない喜びです。活動をして良かったと思えることの一つとして、仲良くなつた海外の学生とソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)(会話)を磨いていくことです。



バングラディッシュ ダッカ工科大学  
(2011年12月8日)



韓国ソガン大学(2012年1月17日)



浙江理工大学での集合記念写真  
(2012年9月10日)



**顧問からのメッセージ**  
(渡孝則工学系研究科副研究科長)

学生達が述べたようにSTEPSは、理工学部学生の主体的能動性を持つてグローバル化へ向けて頑張っています。教員から見ていますと、STEPSの組織化自体が大変驚くべき事でした。「鉄は熱いうちに打て」という言葉がありますが、まさしく若い世代の学生が海外研修で“打たれ”、強くなり成長する姿を見るとますます応援したくなります。佐賀大学留学生との継続的な交流、英語を生活言語とする地域への研修なども企画しています。企業・地域はグローバル人材の育成を強く要望しており、STEPSはまさに期待に応えるリーダーになると考えています。

顧問はグローバル活動が出来る環境提供に努めるとともに、常に生じる新たな課題や問題についてアドバイスと支援を行います。“継続は力なり”と言いますが、グローバル力は一夜で身に付けられるものではありません。STEPSの学生が艱難辛苦を乗り越えて歩みを前に進めることができるように、皆様のご助言・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

# 障がい者スポーツサークル『AS研究会』

～スポーツの輪を広げよう！～

**A** S(Adapted Sports:アダプテッドスポーツ)研究会代表の今井康太です。「アダプテッドスポーツ」とは障がい者スポーツのこと、「アダプテッド」には障がいのある方はもちろん、子どもや高齢者でも実践でき、誰もが一緒に楽しめるという意味があります。

AS研究会は今年できたばかりの未熟なサークルではあります、26人のメンバーで、視覚障がいのあるランナーの伴走や車いすツインバスケットボール、知的発達障がいのある方のスポーツのサポートを中心に活動しています。

私たちには「できないこと」があります。メンバーに福祉やスポーツを専攻している学生が少なく、専門性に欠けてしまうのです。しかし、私たちに「できること」は、障がいのある方と一緒にスポーツをし、スポーツの楽しさを共有することであると考えました。

定期的な練習はもちろん、リレーマラソンや、車いすツインバスケットボールの九州選手権といった大会のサポートもしました。大学祭では、障がい者スポーツとつながる機会を作るために、車いすツインバスケットボール体験を大学の体育館で企画しました。障がいのある方と一緒に、みんな楽しそうにプレーしていたことが印象的でした。障がい者スポーツと聞くと抵抗があるかも



天草国際トライアスロン(左:今井、右:柳川さん)



農学部生命機能科学科4年



大学祭での車いすツインバスケットボール体験

りませんが、私たちも楽しめるスポーツです。みんなでスポーツを楽しみ、スポーツの輪が広がっていけばいいなと思います。

私が障がい者スポーツに興味を持ったのは、全盲のトライアスロン選手、柳川春己さんとの出会いがきっかけでした。視覚に障がいのある方から、「ただ見えないだけ」という言葉を聞くことがあります。その「できな

い」部分をサポートできれば、スポーツを楽しむことができるのです。今年の春には柳川さんと天草国際トライアスロンに出場しました。

私の卒業後の進路は、福祉・医療関連の施設です。所属している農学部とは畑違いの職業ではあります、これからもスポーツに限らず、障がいのある方の活動の幅を広げていきたいと思います。



九州車いすツインバスケットボール選手権大会(インクリース佐賀)



視覚障がいのあるランナーの伴走

# さがんせん隊 守るんじゃー

～今まで、これからもつながりの輪で安心を～



大学内駐輪場の整理整頓

私は「さがんせん隊守るんじゃー」で防犯ボランティアを行っています。この組織は平成22年10月に結成され、現在は、佐賀大学、西九州大学、佐賀女子短期大学の3大学の学生、合計50人で活動しています。

まず、定期活動について紹介します。毎月第1水曜日と第3金曜日に、大学の駐輪場の整理整頓や、大学構内、周辺での環境美化活動を、そして、9月からは本庄小学校において、地元の本庄お守り隊の方々と一緒に、下校時における子どもの見守り活動に参加しています。

また、大型イベント会場での広報活動も行っています。これまで、有田陶器市会場や、「ロックの日」イベント、J1サガン鳥栖試合会場、鳥栖

プレミアムアウトレットなど、多くの人が集まる会場で広報活動を実施してきました。これらの活動で、福岡県の大学生防犯ボランティアや、地

元の防犯ボランティア団体の方々と一緒にを行い、貴重な意見を聞き、地元に密着した防犯ボランティア活動の素晴らしさを感じました。

他にも、「地域安全マップ」に取組んでおり、「入りやすく、見えにくい場所」をキーワードに勉強しており、県内の小学校に行って、小学生たちにこの講座を行うことを予定しています。

やりがいを感じるのは、防犯広報活動などを行っている時に、立ち止まってチラシを受け取られたり、



草場由貴穂

経済学部  
経済システム課程3年



佐賀県銀行協会から感謝状を授与

大学生だと気付いてもらい、「お疲れ様です」「頑張ってください」と声をかけてもらうことです。その際「一人でも多くの人が犯罪の被害に遭わないために広報を頑張ろう」という気持ちが更に強くなります。逆に苦労したことは、広報活動の際、最初の一聲が出にくかったり、チラシをなかなか受け取ってもらえず悲しい思いをしたことです。

大学を卒業すれば、それぞれが違う道を進むことになりますが、このボランティアを通じて学んできたこと全てが、大きな財産になると確信しています。今後も、少しでも世の中のためになれるように、活動を継続していきたいです。



作成した地域安全マップ



佐賀大学校友会「校友間支援事業」

# 校友の集い in 杭州を開催しました

2012年9月10日、中国・杭州市内において、海外では2回目となる「佐賀大学校友の集い in 杭州」を開催しました。海外版ホームカミングデーとして、杭州・上海を中心とした中国出身の本学卒業生・帰国留学生や浙江理工大学副学長他、浙江中医薬大学長、浙江大学及び浙江科技学院教員、杭州在住日本企業関係者など、佐賀大学に関係する各方面の方々を広く招いての盛大なレセプションとなりました。佐賀大学工学系研究科とコンソーシアム関係にある佐賀県工業連合会一行他、佐賀大学関係者(中島晃理事、林田行雄工学系研究科長他、事務職員、\*STEPs学生)など、総勢68名が参加しました。

中島晃理事からの挨拶と本学の現況紹介

その後、浙江理工大学の陳文興副学長と浙江中医薬大学長の范永昇学長からのご挨拶があり、引き続き、外尾一則国際交流推進センター副センター長による乾杯の発声により、レセプションの開始となりました。

STEPsの学生による佐賀大学紹介や、本学卒業生・帰国留学生による近況報告、また、佐賀県工業連合会他のご挨拶など、参加者同士での活発な意見交換も行われました。

\*STEPs … 佐賀大学理工学部の成績優秀学生による有志の会



参加者の集合写真



参加者の様子

**学生さん必見！「課外活動等支援金」「緊急支援奨学金」「ボランティア活動援助金」「国際交流奨励金」「海外派遣奨励金」を実施しています。**

支援事業の詳細については、佐賀大学校友会事務局までお問い合わせください。佐賀大学校友会HPに実績を公表していますので、併せてご覧ください。

**佐賀大学校友会では、会員になつていただける方を募集しています!!**

【問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1(国立大学法人佐賀大学 本部3階)

電話 0952-28-8390

(月曜日から金曜日 8:30~17:15 [祝日は除く])

ホームページURL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>**会費**

- 正会員(個人) 20,000円(終身会員会費)  
2,000円(年会費) ※2万円に達した場合は、終身会員になります。
- 賛助会員(団体に限ります)  
1口 50,000円

**払込方法**

- 現金又は郵便局振込にてお願いいたします。

- ・現金の場合は、佐賀大学校友会事務局にて受領いたします。

- ・郵便局の場合は、振替口座/01760-0-49425

- 振替名義/佐賀大学校友会

- (振込料金は校友会で負担いたします。)



## サークル紹介

### バドミントン部(鍋島キャンパス)



部長

陳文瀚

医学部医学科3年



こんにちは。佐賀大学医学部バドミントン部です。

私たちは、医学科、看護科合わせて約50名、毎週月・木・土曜日に医学部の体育館でアットホームな感じでメンバー同士仲良く、楽しく練習しています。

毎年、5月初旬に行われる九州・山口医学生体育大会(九山)や、西日本医学生総合体育大会(西医体)をはじめとした多くの大会に出場しています。また、学園祭ではたこ焼き屋を出展したり、7月には海に行ったりなどイベントも盛りだくさんです。

バドミントンはマイナーなスポーツですが、今年のロンドンオリンピックでフジカキペアーが銀メダルを取り、皆さんに認知されるようなスポーツになりました。部員の多くは、初心者からのスタートですが、お互いに切磋琢磨しながら練習を頑張っています。大学から今までと違うこと、スポーツがしたい人など、バドミントンに興味がある人はぜひ見学に来てください。

簡単ですが、バドミントン部の紹介をさせていただきました。どうぞよろしくお願いします。



### 競技ダンス部(本庄キャンパス)



部長

木村和明

経済学部経営・法律課程3年



こんにちは。僕たちは、佐賀大学競技ダンス部です。競技ダンスという言葉は珍しいかもしれません。いわゆる社交ダンスです。

競技ダンス部は毎週月、火、木、金曜の午後間練習しています。年に5回行われる公式の競技会では各カップルが毎回上位にいくこんでいますが、長年の目標である団体優勝をするべく日々練習に励んでいます。

大会のほかにも、九州の大学が集まって、年に2回の合宿やダンスパーティーを行うなど、楽しいイベントも多数です。

練習は、月曜～木曜はサークル会館の3階で18時15分から、金曜はスポーツセンターの2階で18時30分から行っています。いつでもどなたでも見学自由で大歓迎です。ぜひ一度は見学に来てみてください！競技ダンスは芸術とスポーツが合わさったものなので、今までの社交ダンスのイメージが変わること間違いないです。

僕たちは楽しく、仲良く、そして何よりアツく活動しています！ぜひ、応援や見学に来てみてください！！



## 授業料の納入に関するお知らせ

口座引落可能な金融機関を拡大！

# ゆうちょ銀行が可能になりました。

従来、対象となる金融機関が限定されており、皆様にはご不便をおかけしておりましたが、平成25年度前期授業料より、全国のほとんどの金融機関から口座引落が可能となりました。

授業料の納入は、原則としてお届け口座からの口座引落のご利用をお願いしています。

一度手続きされると、口座引落開始時からご卒業まで、手数料なしで授業料を半期ごとに納入できます。

まだ、手続きがお済みでない方は、是非この機会に手続きをしていただきますよう、よろしくお願いします。

### 授業料金額

| 区分   | 半期       | 年額       |
|------|----------|----------|
| 学部学生 | 267,900円 | 535,800円 |
| 大学院生 |          |          |

※長期履修学生の方で金額が不明の方は、下記問合せ先にお尋ねください。

### 授業料の納入時期

学生掲示板やホームページでお知らせします。

(郵送等による事前の個別通知は行っておりませんので、ご了承ください。)

#### 前期分

4月～5月(5月31日期限)

#### 後期分

10月～11月(11月30日期限)

注意) 納入の時期を過ぎても納入されない方については、督促状を発送いたします。

### 授業料の納入方法

授業料納入は、「口座振替制度」の利用をお願いしています。

#### ●口座振替を利用する場合(手数料は大学負担)

振替の手続がまだの方は、「預(貯)金口座振替依頼書」を提出してください。

※配布場所: 経理調達課(収入担当) / 学生センター教務課 / 医学部学生サービス課

口座振替日

前期分: 5月27日 後期分: 11月27日(土日祝の場合、翌営業日)

口座へは前日までに入金をお願いします。

#### ●口座振替を利用しない場合(手数料は本人負担)

佐賀大学の指定口座に振込をお願いします。

振込用紙は個別に送付しておりませんので、金融機関に備え付けの用紙やATMをご利用ください。

### お問合せ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

佐賀大学財務部 経理調達課 収入担当

TEL 0952-28-8143 / Email: syunyu@mail.admin.saga-u.ac.jp



## 佐賀大学オリジナル清酒

ゆう ゆう ち すい

## 悠久知醉

平成19年から製造を開始しました佐賀大学オリジナル清酒「悠久知醉」も7年目になります。今年は佐賀県三養基郡の天吹酒造様に製造をお願いしました。

原料はこれまで通り農学部附属アグリ創生教育研究センター産の特別栽培米「ひのひかり」と佐賀大学オリジナル酵母を使用しています。



平成25年  
2月1日(金)発売!

味を重視して、  
磨きを50%にあげた  
「純米大吟醸」!!

販売価格  
1,500円(税込)  
720ml

※写真はイメージです。

農学部の学生が蔵仕事に没頭、  
泊まり込みで麹を造りました!

■ 悠々知醉 ブログ ▶ <http://yuyuuchizui.sagaten.jp/>

佐賀大学生協や佐賀市内の酒販店で販売します。  
是非お買い求めいただき、ご賞味ください。

【問い合わせ先】佐賀大学広報室 ☎0952-28-8153

国立大学法人佐賀大学の役職員の報酬・給与等について(概要)

国立大学法人佐賀大学では、役員の報酬等及び職員の給与の水準を公表しております。公表内容につきましては、「佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp>」をご覧いただか、または、人事課給与主担当で文書資料を用意しておりますので、ご連絡ください。(TEL:0952-28-8125)

なお、公表内容の概要是次のとおりです。

1. 国家公務員及び他の国立大学法人等との給与水準(年額)の比較指標(平成23年度)

| 職員の区分       | 対国家公務員 <sup>※1</sup> | 対他の国立大学法人等 <sup>※2</sup> |
|-------------|----------------------|--------------------------|
| 事務・技術職員     | 80.3                 | 93.0                     |
| 医療職員(病院看護師) | 98.5                 | 97.2                     |
| 教育職員(大学教員)  | (参考) 92.0            | 94.3                     |

※1 国家公務員の給与水準を100として算出

※2 すべての国立大学法人を一つの法人とみなした場合の給与水準を100として算出

2. 総人件費について

| 区分                  | 当年度<br>(平成23年度)  | 前年度<br>(平成22年度)  | 比較 増△減                    | 中期目標期間開始時<br>(平成22年度)からの増△減 |
|---------------------|------------------|------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 給与・報酬等支給総額<br>(A)   | 千円<br>10,733,181 | 千円<br>10,703,031 | 千円<br>30,150<br>( 0.3%)   | 千円<br>30,150<br>( 0.3%)     |
| 退職手当支給額<br>(B)      | 千円<br>1,122,527  | 千円<br>693,777    | 千円<br>428,750<br>( 61.8%) | 千円<br>428,750<br>( 61.8%)   |
| 非常勤役員等給与<br>(C)     | 千円<br>3,291,869  | 千円<br>3,038,988  | 千円<br>252,881<br>( 8.3%)  | 千円<br>252,881<br>( 8.3%)    |
| 福利厚生費<br>(D)        | 千円<br>1,769,429  | 千円<br>1,661,122  | 千円<br>108,307<br>( 6.5%)  | 千円<br>108,307<br>( 6.5%)    |
| 最広義人件費<br>(A+B+C+D) | 千円<br>16,917,006 | 千円<br>16,096,918 | 千円<br>820,088<br>( 5.1%)  | 千円<br>820,088<br>( 5.1%)    |

注:「非常勤役員等給与」においては、寄附金、受託研究費その他競争的資金等により雇用される職員に係る費用及び人材派遣契約に係る費用等を含んでいたため、当法人の財務諸表附属明細書の「18 役員及び教職員の給与の明細」における非常勤の合計額と一致しない。

佐賀大学メールマガジン登録受付中!!

毎号、受験生へ向けて、OB・在学生からの熱いメッセージ掲載。

登録は、→ <http://www.saga-u.ac.jp/mailma/>



UNIVERSITY  
ACCREDITED

Mar. 2010

編集後記

本号の特集は、本年10月に誕生した「アグリ創生教育研究センター」です。農学部と言えば、従来からある農学、園芸、畜産だけでなく、近年はバイオテクノロジー、生命科学、食品栄養学、さらには資源循環や環境保全など、生命の営みに関係する最先端の科学分野の研究を行っています。そのため、本学でも人気の学部です。本センターは、このような時代の要請を受け、農場を土台に関連の施設を統合し、より総合的な教育・研究を可能とする組織として誕生しました。そこでは、文化教育学部や医学部と連携した更なる学際的研究も始まるとして期待されています。

今回「教育紹介」として紹介した「段ボールを使った生ゴミの堆肥化」も、農学部を中心に長年取り組まれている「環境体験教育」の一部ですが、環境教育は本学の教育の看板と言えるまでに育っています。

「おいしいもの」も農学部からは生まれています。塩味のする新野菜「バラフ」は本学の主力「商品」で、広報的貢献度も絶大です。また本誌最終頁で告知されているように、本学オリジナル清酒「悠久知醉」も、今回は純米大吟醸として農学部の学生が酒蔵に泊まり込みで目下、製造中です。乞うご期待!

(広報室長 早瀬 博範)



100

VEGETABLE  
FOODS  
SAGA UNIVERSITY

古紙を100%再生紙を使用しています。

# 上ギャラリー

作品名

## 「cell culture」

(第62回佐賀県美術展覧会にて佐賀県知事賞受賞)

やとうじたかし  
八頭司昂 (文化教育学部美術・工芸課程4年 西洋画専攻)



### 【作者プロフィール】

1990年 愛知県生まれ  
<企画等>  
2009年 「吳福万博」スタッフ  
2010年 「吳福万博2010」スタッフ  
2011年 「吳福万博2011」代表  
「アサヒ・アート・フェスティバル2011」参加  
<個展>  
2012年 「drawing as communication」  
(PERHAPS GALLERY)

### 【作者コメント】

固定観念の分解と再構築をテーマに、具象表現と抽象表現を織り交ぜたものを目指して制作しています。  
形と色のバランスを意識して描きました。

本学の情報を携帯電話で見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。  
携帯用 URL:<http://daigakujc.jp/saga-u/>

